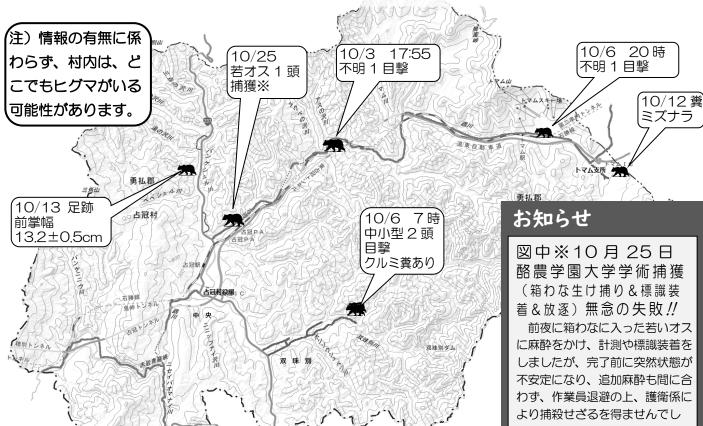
ヒグマについてのお知らせ

10月以降も村内ではヒグマについて特段の事件もなく、静穏に 経過しました。統計情報は出ていませんが、おそらく全道的にも例 年より静かなのではないかと思われます。



秋以降の動きについてはミズナラのドングリが豊富であることが関係していると 言われていますが、他の季節については明らかな説明材料はいまのところありませ ん。昨年は問題多発、今年は異常なまでに静穏と、ヒグマの生態に現れるこうした 揺らぎの構造を解明することは、ヒグマ対策を考える上で重要なテーマです。従っ て静かな年もただ安心して過ごすだけでなく、ヒグマたちが静かにどこでどうして いるのか、情報収集のチャンスと捉えたいものです。

11 月も通常の活動期ですので、気を抜かず遭遇回避、誘引防止に努めましょう。



次のような状況はすぐに対策が必要です。

- ★ 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
- 道路上や道路脇、農地に居座っている。
- 人に気付いても逃げない。
- 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
- 持ち物を奪われた。
- ★ 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
- ★人や家畜、ペットが襲われた。
- ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

、 次のような状況では、静観できると考えられます。

- ●山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
- 山林内でヒグマの痕跡を見た。
- 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った

すぐにお知らせください。

状況に応じ、注意喚起や立入制 限、追い払いや捕獲等の対処を します。

占冠村役場 農林課 林業振興室 野生鳥獣担当 **2**0167-56-2174

占冠駐在所 **2**0167-56-2110

役場林業振興室に情報をお寄せ ください。生息状況の基礎デー タとして集積し、対策に活かして まいります。

図中※10月25日 酪農学園大学学術捕獲 (箱わな生け捕り&標識装 着&放逐)無念の失敗!!

に麻酔をかけ、計測や標識装着を しましたが、完了前に突然状態が 不安定になり、追加麻酔も間に合 わず、作業員退避の上、護衛係に より捕殺せざるを得ませんでし た。原因を検証し方法を改善して 次に臨んでまいります。

6月の対応訓練等の様子 がテレビ放送されました ご協力ありがとう ございました。





ヒグマミーティング 今年も企画します。日程 場所、内容いずれも未定 です。ぜひ皆さ



まのご要望をお 寄せください!!